

令和元年 5 月 3 0 日制定

青森県量子科学センター委託研究評価実施要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、県が量子科学研究開発支援事業として青森県量子科学センターにおいて実施する委託研究の研究開発課題に係る評価（以下「研究評価」という。）を適正に実施するために必要な事項を定めるものとする。

(研究評価の種類、対象等)

第 2 条 研究評価の種類は、事前評価、中間評価及び事後評価とする。

- 2 事前評価は、県が新たに委託研究を実施しようとする場合に、提案のあった研究開発課題について実施するものとする。
- 3 中間評価は、委託期間が 2 年を超える研究開発課題について、その期間内の適当と認められる年度に実施するものとする。
- 4 事後評価は、委託期間が終了した研究開発課題について、その終了した年度の翌年度に実施するものとする。

(研究評価の主体)

第 3 条 研究評価は、青森県量子科学センター研究開発委員会設置要綱により設置される青森県量子科学センター研究開発委員会（以下「委員会」という。）が行うものとする。

(研究評価の項目及び基準)

第 4 条 研究評価の項目及び基準は、別表 1 から別表 3 までに定めるとおりとする。

(研究評価の実施)

第 5 条 研究評価の実施に当たり、県は、対象となる研究開発課題の研究代表者に対し、研究課題シート（第 1 号様式）を作成させるものとする。

- 2 委員会の委員は、各研究代表者が作成した研究課題シート、成果報告書その他必要と認める資料に基づき研究課題ごとに評価し、研究評価書（第 2 号様式）を作成する。
- 3 委員会は、各委員が作成した研究評価書に基づき、合議又は書面による委員からの意見聴取を実施する。
- 4 前項に定めるもののほか、必要に応じ、委員会の委員による研究代表者から

のヒアリング又は現地調査を実施する。

- 5 委員会の長は、各委員が作成した研究評価書、委員会における合議又は各委員からの意見の内容等を踏まえ、研究評価結果書（第3号様式）を作成し、県に提出する。

（評価結果の活用）

第6条 県は、研究評価の結果を、研究開発課題の採択、研究計画の適正化、研究開発資源の見直し、成果の実用化・応用化の促進等のため、その結果を最大限活用するものとする。

（評価結果の公表）

第7条 県は、研究評価の結果を取りまとめ、ホームページ等によりその内容を公表する。

- 2 前項の規定による公表に当たっては、個人情報、知的財産権等に配慮し、取扱いには十分留意する。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、研究評価の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年5月30日から施行する。

別表1 「事前評価」における評価の項目及び基準

評価項目	評価内容	a 評価	b 評価	c 評価	d 評価
1 研究実施の必要性	社会情勢や県民ニーズからみて、又は今後の実用化研究に向け、現時点で研究を実施する必要性があるか	必要性は高い	ある程度の必要性はある	必要性は低い	必要性はない
2 成果目標の妥当性	目標は明確で、かつ、その水準は妥当か	妥当である	ある程度の妥当性はある	妥当性は低い	妥当性はない
3 研究の新規性・独創性	研究の内容が新たな発想や手法によるものか、又は既存技術の改善や組合せにより現状を改良するものか	新規性・独創性は高い	ある程度の新規性・独創性はある	新規性・独創性は低い	新規性・独創性はない
4 研究計画の妥当性	目標達成に向けた研究年次計画は妥当か	妥当である	ある程度の妥当性はある	妥当性は低い	妥当性はない
5 経費の妥当性	研究年次計画に基づく経費は妥当か	妥当である	減額するのが適当である	経費の内容に問題がある	
6 成果の波及効果	得られた成果の県民や地域産業への貢献、実用化研究への発展や研究分野の質的向上が期待できるか	期待できる	ある程度の期待はできる	あまり期待できない	期待できない

別表2 「中間評価」における評価の項目及び基準

評価項目	評価内容	a 評価	b 評価	c 評価	d 評価
1 研究の進捗	研究は年度計画に対し、計画どおり行われているか	計画どおりである	ある程度は計画どおりである	あまり計画どおり進んでいない	計画どおり進んでいない
2 情勢変化の把握と対応	現時点での研究情勢を把握し、これについて対応しているか	情勢を把握し、対応している	情勢を把握し、ある程度は対応している	情勢の把握と対応が不十分である	情勢を把握した対応ができていない
3 成果目標達成の可能性	研究期間内に目標に到達する可能性は高いか	可能性は高い	ある程度の可能性はある	可能性は低い	可能性はない
4 今後の計画の妥当性	現時点での進捗からみて、今後の研究計画は妥当か	妥当である	ある程度の妥当性はある	妥当性は低い	妥当性はない
5 経費の妥当性	研究年次計画に基づく経費は妥当か	妥当である	減額するのが適当である	経費の内容に問題がある	
6 成果の波及効果	現時点での情勢及び進捗からみて、成果の波及効果は期待できるか	期待できる	ある程度の期待はできる	あまり期待できない	期待できない

別表3 「事後評価」における評価の項目及び基準

評価項目	評価内容	s 評価	a 評価	b 評価	c 評価	d 評価
1 成果 目標の 達成程 度	目標とする成 果目標の達成 状況	目標を 上回る 成果が 得られ た	目標ど おりの 成果が 得られ た	おおむ ね目標 どおり の成果 が得ら れた	ある程 度は目 標には 到達し た	目標と する成 果は得 られて いない
2 成果 の波及 効果	得られた成果 の県民や地域 産業への貢献 又は関連する 研究分野への 波及は期待で きるか	既に波 及効果 がみら れてい る	期待で きる	おおむ ね期待 できる	ある程 度は期 待でき る	あまり 期待で きない
3 実用 化やフ ォロー アップ の状況 又は計 画の妥 当性	フォローアッ プも含めた成 果の実用化や 実用化研究へ の発展の状況 又は計画の妥 当性	実用化 又は実 用化研 究の実 績があ る優れ た研究 である	実用化 又は実 用化研 究に結 びつく 計画で ある	おおむ ね実用 化又は 実用化 研究に 結びつ く計画 である	ある程 度は実 用化又 は実用 化研究 に結び つく計 画であ る	実用化 又は実 用化研 究への 可能性 は低い

研究課題シート
(量子科学センター委託研究)

■評価項目別、シート構成表

No.	シート内容	要提出		
		事前評価	中間評価	事後評価
1	研究概要	○	○	○
2	研究開発の目的及び必要性	○	○※1	
3	研究開発の新規性・独創性	○	○※1	
4	研究開発計画・ロードマップ	○	○※1	
5	成果目標	○		
6	成果目標の達成可能性		○	
7	成果目標の達成程度			○
8	青森県内への成果の波及効果	○	○※1	○※1
9	実用化、フォローアップ状況又はフォローアップ計画			○

※1 中間評価又は事後評価を受ける時点での内容に更新して提出すること。

No. 1 研究概要

研究開発名	
基本計画 該当テーマ <small>※該当する数字に○印</small>	I 高レベル放射性廃棄物からの放射性同位元素の高度分離技術の開発 II 放射性同位元素の医学・工学等への応用 III 先進放射線計測技術の開発 IV 放射線・放射線場を用いた材料科学技術の開発
実施機関	機関名：○○○○○ 住所： 代表者：
研究代表者	所属・職位・氏名：
研究担当者 <small>※全員分記載</small>	所属・職位・氏名：
研究開発の概要	

No. 2 研究開発の目的及び必要性

【研究開発の背景、目的、社会的必要性等について記載】

No. 3 研究開発の新規性・独創性

【研究開発の新規性・独創性について記載】

No.4 研究開発計画・ロードマップ

【各年度別の研究開発の内容・手法・達成目標（達成状況）】

<p>○ ○ 年 度</p> <p>【完了済み】</p>	<p>【内容・手法】</p> <p>【量子科学センターの使用研究設備】</p> <p>【廃棄物発生量】</p> <p>【当該年度の達成目標】</p> <p>【当該年度の達成状況】</p>
<p>○ ○ 年 度</p> <p>【実施中】</p>	<p>【内容・手法】</p> <p>【量子科学センターの使用研究設備】</p> <p>【廃棄物発生量】</p> <p>【当該年度の達成目標】</p> <p>【当該年度の達成見込み】</p>
<p>○ ○ 年 度</p> <p>【今後実施予定】</p>	<p>【内容・手法】</p> <p>【量子科学センターの使用研究設備】</p> <p>【廃棄物発生量】</p> <p>【当該年度の達成目標】</p>

※ 改ページする場合は、年度単位で行うこと（最小フォントサイズは10ポイント）。

No.4 研究開発計画・ロードマップ

【ロードマップ】

研究項目	H29	H30	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 ○○○の開発	<p>①○○○ ②○○○ (実績) ①○○○○○ ②○○○○○</p>	<p>①○○○ ②○○○ (実績) ①○○○○○ ②○○○○○</p>	<p>①○○○○○ ②○○○○○</p>		
2 ○○○の開発	<p>①○○○ (実績) ①○○○○○</p>	<p>①○○○ (実績) ①○○○○○</p>	<p>①○○○○○ ②○○○○○</p>	<p>①○○○○○</p>	
3 ○○○の開発			<p>①○○○○○ ②○○○○○</p>	<p>①○○○○○ ②○○○○○</p>	<p>①○○○○○</p>
研究費	実績額 (千円)	実績額 (千円)	見込額 (千円)	見込額 (千円)	見込額 (千円)

No.5 成果目標

【研究開発終了後を見据えた成果目標について記載】

成 果 目 標	
---------	--

No.6 成果目標の達成可能性

【成果目標の達成可能性について記載】

成 果 目 標	
達 成 可 能 性	

No.7 成果目標の達成程度

【成果目標の達成程度について記載】

成 果 目 標	
達 成 程 度	

No.8 青森県内への成果の波及効果

【青森県内への成果の波及効果について記載】

※ 中間評価又は事後評価を受ける時点での内容に更新すること。

No. 9 実用化、フォローアップ状況又はフォローアップ計画

【実用化、フォローアップ状況又はフォローアップ計画について記載】

研究評価書
(量子科学センター委託研究)

評価者氏名 _____

(評価対象)

研究開発課題： _____

研究代表者： _____

区分	事前評価					
評価	1 研究実施の必要性	2 成果目標の妥当性	3 研究の新規性・独創性	4 研究計画の妥当性	5 経費の妥当性	6 成果の波及効果
意見等						

区分	中間評価					
評価	1 研究の進捗	2 情勢変化の把握と対応	3 成果目標達成の可能性	4 今後の計画の妥当性	5 経費の妥当性	6 成果の波及効果
意見等						

区分	事後評価		
評価	1 成果目標の達成程度	2 成果の波及効果	3 実用化、フォローアップ
意見等			

(第3号様式)

研究評価結果書
(量子科学センター委託研究)

研究開発課題	評価の種類	委員意見	指示等事項